



2020 春季生活闘争

全ての加盟組合が要求書を提出！

J R九州グループ労働組合連合会（J R九州連合）は、2月17日に開催した第1回幹事会において、J R連合・J Rグループ労組連絡会で確認された3,000円の統一ベア要求をはじめとする2020春闘要求を、2月28日に一斉に提出することを確認した。

2020春季生活闘争で共有する3つの基調

- 長期安定雇用を基本とした就業形態であるJ R産業には、継続した賃上げが不可欠
- 「人材の確保・定着」にむけて、全ての労働者の立場に立った働き方の実現
- J R産業の持続的な発展は、グループ会社等の存在が不可欠であり、J Rグループ内で働く仲間が安心して働き続けることのできる労働環境の早期実現

これを受け、2月28日には5単組が要求書を提出、一部の加盟組合において新型コロナウイルスへの対応等からスケジュールが遅れたが、3月13日までに全ての加盟組合が要求書を提出した。

このような中、3月13日に妥結したJ R九州労組は、会社からの厳しい回答を受け、直前までの収入は好調であったものの、税制特例の廃止や減価償却費の増により通期見通しで減益である状況や、猛威を振るう新型コロナウイルスの影響から鉄道運輸収入の落ち込みが激しく、その終息も見通せない状況から、ベースアップを断念する結果となった。

J R E G 労組が妥結

3月17日、J R九州連合の先陣を切ってJ R九州エンジニアリング労組（J R E G 労組）が妥結した。

厳しい経営状況もありベースアップは断念せざるを得なかったが、定期昇給の確保を確認したうえで、2019年度業績功労金（社員5万円分のギフトカード、契約社員2万円分のギフトカード）を獲得した。

J Rグループ労組連絡会

第3回幹事会で新型コロナウイルスの影響状況を確認

J Rグループ労組連絡は3月26日、第3回幹事会を開催し、2020春闘の取り組み状況を確認したほか、新型コロナウイルスによる影響状況を把握し、今後の取り組みについて意思統一した。

参加者からは、グループ各社における悲痛な実態が報告され、特に運輸、ホテル、物販の分科会は壊滅的な状況にあることがあらためて明らかになった。

J R連合は、「雇用確保の取り組み」「政党・関係省庁への要請」「利用促進の要請」の3点を柱とする取り組み方針を提起し、今後はこれまで以上に情報共有を図りながら具体的に行動していく事が確認された。